

孟蘭盆会の由來

お釈迦様の十大弟子の一人に目蓮尊者といふ方がおられました。多勢のお釈迦様のお弟子達の中で迦葉尊者が智慧第一と言はれるのに對してこの目蓮尊者は数々の修行の結果神通第一と言はれ常人の出来ない事がなんでも出来る千里眼透視は勿論のこと他人の心の中まで自由自在に知ることが出来るのみならず死んだ人の所在などで即座に解るといふ所謂通力を持つた傑僧であります。

この目蓮尊者が或る時ふと「死んだ自分のお母さんは今どんな所にいるだろうか」と考えました。

そこで忽ち通力をあらわして微見したところ見るかげもなく骨と皮とに瘠せ衰えて食うに食われた飲むに飲まれぬ餓鬼道に墮ちて欲しい食べたいと苦しんでいる母の姿があらわれました。目蓮の母は生前剛慾な人であつたのでしよう。尊者の驚き、歎き、悲しみはいかばかりか!

しかし神通力を得た尊者の事です。すぐさま通力をあらわして大きな鉄鉢にご飯一杯盛り餓鬼道に飛んでいつて苦しみを嘆いでいるお母さんに捧

『声』

郷土館

体育館が出来た、全国から集つて来た若人は、ここにバドミントンの技を競つた。善通寺町の名

がそれだけ広く知られることになつた。まことに結構である。

ここに於て、更に希望したいことは、文化施設の拡充ということである弘法大師のことはいわずもがな。古く大麻山時代

よりの遺跡の保護と遺物

永久に青年であれ

人間は若しさを失つ

生活の充実の程度に帰す

目標が永遠の彼方にある

ために、若々しさを保つ

わたおしまいます。一般

者は若い。

弘道

そこで忽ち通力をあらわして微見したところ見るかげもなく骨と皮とに瘠せ衰えて食うに食われた飲むに飲まれぬ餓鬼道に墮ちて欲しい食べたいと苦しんでいる母の姿があらわれました。目蓮の母は生前剛慾な人であつたのでしよう。尊者の驚き、歎き、悲しみはいかばかりか!

しかし神通力を得た尊者の事です。すぐさま通力をあらわして大きな鉄鉢にご飯一杯盛り餓鬼道に飛んでいつて苦しみを嘆いでいるお母さんに捧

ました。

尊者は大いに喜び教の

まゝに奉行したところが

大衆は非常に歓喜しその

苦しみはその功德によつて解脱する事が出来るで

ある「う」とお諭しになり

ました。

吾々は正しく歩むため

はまた我等に課せられた

重要な任務ではなかろ

うか。この為に郷土館の

建設は体育館と同じ重要

性で母は一切餓鬼の苦

しみを免れることが出来

るべきだと思ふ。

吾々は正しく歩むため

に二本の脚を与えられて

いる。動あり、静あり以

て本町の健全なる発展を

望むことはひとりこの声

だけではあるまい。

(一町民の声)

（郷土館）

（郷土